

## 意見陳述(共同代表・河本六美)

共同代表の河本六美と申します。

私の母体団体は、米子市連合婦人会です。これまで、「いのちと暮らしとふるさとを守る」ため、また、心豊かな地域づくりの担い手となるべく、学習と実践を継続してまいりました。

特に環境、エネルギー問題には、力を入れてきましたし、東日本大震災後には、防災、原発について深く学びました。そしてこれらの問題は、人ごとではなく、自分自身の命と暮らし、さらには次世代にどんなふるさと米子市をつないでいくのかということに、大きく関わっていると実感しています。

私たちがくらす、これからの世界、日本、米子市は、SDGs の理念にも示されているように、誰ひとり取り残されないことを目指し、世界の国々が一丸となって持続可能な開発目標を達成していく時代になります。

誰かがしてくれるだろうと他人任せにするのではなく、ひとりひとりが積極的に、実効性のある具体的な行動が求められます。

こうした世界中の気運が高まったことは、やはり人々が、地球の未来に危機感を強く感じているからだと思います。

ここで振り返りますと、福島原発事故から、私たちは何を学んだか、今後どうあるべきか……。日本人なら、もっとも考えなければならない視点だと思います。

「原発稼働の是非」は、本当に持続可能な日本、ひいては世界をつくれるのか、あらためて一人ひとりが考え、決めていかねばならない大事なターニングポイントであることは間違いないと思います。

今さえよければ、自分さえよければという考え方は通用しません。100年後、1000年後、地球の未来はどうなっているのか……。みなが想像力を働かせてみましょう。私たち大人は、次世代の子どもたちにどのような未来をバトンタッチするのか。今こそしっかり見極める時なのです。そのために、住民投票が重要なのです。

米子市の未来、日本の未来を自分で決める!一人ひとりの意思をもって、みんなが決める……。それが今を生きる私たちの責任であり、決意を表明する術となるのです。

住民投票条例が制定されたあかつきには、原発に賛成・反対の立場を超えて、しっかりと熟議し、すべての投票資格者が胸を張って、賛成・反対の一票を投じる。その姿がこの米子市で行われれば、それこそ本当の地方自治が具現化されることになるのです。

ぜひとも、米子市、米子市議会におかれましては、公明正大なご判断を頂き、住民投票条例を制定していただきますよう、切に、お願いいたします。